

## 第6話

突然ですが私は外食をする事が結構多く人様から美味しいと教えてもらえば必ずと言って良いほどそのお店に足を運んだりします。そんな中でずっと昔から通っている夙川にあるイタリアンのお店があります。

間に長く遠のいた時期があったのですが最近はまだ頻繁に通うようになりもうかれこれ20年以上通っているかと思えます。めちゃくちゃ美味しい、私の中では間違いなく名店です。

そちらのお店はご夫婦でされており旦那様がシェフで奥様がホールを担当されており味もさることながらこの奥様が気さくで絶妙に居心地が良いのです。私たちよりも少しだけ年上のご夫婦ですが通い始めたとき私も家内と一緒に仕事をしていたので、食事をしながらもテキパキとお仕事をされるお二人を見て少しへこんでいる時には自分も頑張ろうと勇気づけられたこともありました。また逆にある日伺った時には何やらいつもの雰囲気ではなくバタバタしていてご夫婦もイライラを隠せないご様子、いつもよりスタッフの人数が明らかに少なくお店が回らないようで、人が急に辞めたのだと直感しました。以前のコラムでお話しましたがうちでもその頃そんな事は日常茶飯事だったので痛いほど気持ちがわかりました。

そして長い年月が経ち、本当に久しぶりに行った私でしたが依然と全く変わらず味を守り続けていらっしゃるご主人、奥様も相変わらず気さくで超お久しぶりなのにも関わらず暖かく迎えて頂きました。そしてなんと当時まだチビちゃんだった長男さんが見事に成長してお店を手伝っているではありませんか。昔よりもほのぼのとしてより居心地がよくなっていたこのお店のように私たちも美容師である前に人として会いたいと思って頂けるような集団でありたいと思います。

